

大阪市環境白書の刊行にあたって



地球温暖化をはじめとする環境問題に関する意識の高まりの中で、地球規模での環境の保全が世界的に重要な課題となっています。本年 6 月にブラジルのリオデジャネイロで開催された、国連持続可能な開発会議（リオ+20）では、国連環境開発会議（地球サミット）から 20 周年を機に、今後 10 年の経済、社会、環境のあり方が話し合われ、環境保全と経済成長の両立をめざしたグリーン経済などを提唱した成果文書が採択されました。また、本年 11 月～12 月にカタールのドーハで開催予定の国連気候変動枠組条約第 18 回締約国会議（COP18）では、2020 年以降の温室効果ガス削減に向けての新しい法的枠組みなどについて話し合いが行われる予定です。

本市においては、これまで都市化・産業活動が進展していく中で、大気汚染や水質汚濁など様々な公害問題に直面してきましたが、市民・事業者・行政が共に協力して取り組んできた結果、大きく改善が進んでいます。しかしながら、今日でもなお、ヒートアイランド現象、資源の循環、生物多様性、地球温暖化など多様化する環境問題への対応が求められています。

このような問題を解決し持続可能な社会をつくるため、平成 23 年 3 月に新たな「大阪市環境基本計画」を策定し、地球温暖化対策等の推進と環境・エネルギー産業の振興を図り、地球環境問題の解決に貢献する大都市をめざした環境施策に取り組んでいるところです。また、昨年 3 月に発生した東日本大震災を機にエネルギー政策のあり方が問われており、環境問題と密接に関係するエネルギー政策についても、「大阪府市エネルギー戦略会議」での議論を踏まえ中長期的な戦略の策定をめざして検討を進めるなど、これからも積極的に様々な環境施策を展開していきます。

本書は、平成 23 年度における大阪市の環境の状況や施策の実施状況、さらに今後改善すべき課題をとりまとめたものです。皆様の環境問題に対する理解と関心を深めていただく一助となれば幸いです。

環境問題は、地球規模の問題であるとともに地域や私たち一人ひとりのライフスタイルの問題でもあります。今後とも市民や事業者、環境 NPO・NGO の皆様と力を合わせて、環境にやさしいまちづくりを進めてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

大阪市長 橋下 徹